



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月2日

上場会社名 株式会社 フジインコーポレーテッド 上場取引所 東 名
 コード番号 5384 URL <http://www.fujimiinc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関 敬史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 鈴木 彰 TEL 052-503-8181
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月7日 配当支払開始予定日 平成29年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	17,417	7.2	2,289	9.0	2,250	3.6	1,647	△3.7
29年3月期第2四半期	16,254	△3.0	2,100	△4.0	2,171	△11.1	1,710	△1.7

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,926百万円 (270.5%) 29年3月期第2四半期 519百万円 (△54.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	66.82	—
29年3月期第2四半期	69.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	55,103	47,399	86.0	1,923.05
29年3月期	53,699	46,164	86.0	1,872.91

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 47,399百万円 29年3月期 46,164百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	25.00	—	28.00	53.00
30年3月期	—	25.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	28.00	53.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,500	4.3	4,400	2.8	4,400	△2.6	3,200	△4.5	129.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	28,699,500株	29年3月期	28,699,500株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	4,051,320株	29年3月期	4,051,141株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	24,648,333株	29年3月期2Q	24,704,795株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く環境は、世界各国において政治、政策面での先行き不透明感が残っているものの、米国経済は景気回復が持続し、日本、欧州経済は力強さを欠くものの緩やかな景気回復に向かい、中国では景気持ち直しの動きがみられました。また、世界半導体市場は、ロジックデバイス、メモリデバイスともに堅調な需要に支えられ、好調に推移しました。

こうした状況下、当社グループでは一丸となって売上拡大とコスト削減に努めました結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高17,417百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益2,289百万円（前年同期比9.0%増）、経常利益2,250百万円（前年同期比3.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,647百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本につきましては、シリコンウェハー向け及び最先端メモリデバイス向けCMP製品の販売が好調に推移した一方で、一般工業用研磨材で減収となったことにより、売上高は9,170百万円（前年同期比0.9%増）、セグメント利益（営業利益）は製品構成の良化により2,099百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

北米につきましては、最先端ロジックデバイス向けCMP製品の販売が好調に推移したことから売上高は2,927百万円（前年同期比30.1%増）、セグメント利益（営業利益）は販売増加に加え製品構成の良化により502百万円（前年同期比151.8%増）となりました。

アジアにつきましては、為替の影響により売上高は4,568百万円（前年同期比6.7%増）となりましたが、製品構成が悪化したことから、セグメント利益（営業利益）は541百万円（前年同期比14.9%減）となりました。

欧州につきましては、シリコンウェハー向け製品の販売が好調に推移したことにより、売上高は751百万円（前年同期比17.7%増）、セグメント利益（営業利益）は76百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

主な用途別売上の実績は、次のとおりであります。

シリコンウェハー向け製品につきましては、半導体市場好調の影響により、ラッピング材の売上高は1,735百万円（前年同期比8.4%増）、ポリシング材の売上高は3,392百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

CMP向け製品につきましては、半導体市場の好調を背景に、ロジック、メモリともに最先端デバイス向け製品需要が増加したことにより、売上高は7,200百万円（前年同期比24.5%増）となりました。

ハードディスク向け製品につきましては、売上高は1,719百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

非半導体関連の一般工業用研磨材につきましては、最終製品の製造プロセス変更の影響等により、売上高は2,116百万円（前年同期比25.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ、1,404百万円増加し、55,103百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が696百万円、その他の流動資産が127百万円、有形固定資産が456百万円増加したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末に比べ、169百万円増加し、7,704百万円となりました。これは、未払法人税等が434百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が322百万円、その他流動負債が300百万円増加したこと等によるものです。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ、1,235百万円増加し、47,399百万円となりました。これは、利益剰余金が956百万円、為替換算調整勘定が253百万円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、半導体市場の好調を背景に、売上高及び利益が予想を上回る結果となりました。最近の業績動向を踏まえ、平成29年8月2日に公表した平成30年3月期の通期業績予想を修正いたします。

詳細につきましては、本日付で別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び子会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動もありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,332	24,310
受取手形及び売掛金	7,239	7,935
有価証券	500	500
商品及び製品	3,275	3,365
仕掛品	847	869
原材料及び貯蔵品	1,598	1,667
繰延税金資産	544	575
その他	302	430
貸倒引当金	△17	△19
流動資産合計	38,623	39,636
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,262	7,756
その他(純額)	6,372	6,334
有形固定資産合計	13,635	14,091
無形固定資産	509	459
投資その他の資産		
投資有価証券	709	691
繰延税金資産	120	87
その他	109	145
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	930	915
固定資産合計	15,075	15,467
資産合計	53,699	55,103

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,226	3,549
未払法人税等	866	431
賞与引当金	1,002	911
役員賞与引当金	—	41
その他	1,815	2,116
流動負債合計	6,911	7,050
固定負債		
繰延税金負債	7	9
退職給付に係る負債	579	607
その他	37	37
固定負債合計	623	653
負債合計	7,535	7,704
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	5,038	5,038
利益剰余金	41,013	41,970
自己株式	△5,108	△5,108
株主資本合計	45,697	46,653
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	254	255
為替換算調整勘定	344	597
退職給付に係る調整累計額	△132	△107
その他の包括利益累計額合計	466	746
純資産合計	46,164	47,399
負債純資産合計	53,699	55,103

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	16,254	17,417
売上原価	9,595	10,384
売上総利益	6,658	7,033
販売費及び一般管理費	4,557	4,743
営業利益	2,100	2,289
営業外収益		
受取利息	11	20
廃棄物処分益	18	18
その他	88	23
営業外収益合計	118	62
営業外費用		
為替差損	32	95
その他	15	6
営業外費用合計	47	101
経常利益	2,171	2,250
特別損失		
退職給付制度終了損	18	—
特別損失合計	18	—
税金等調整前四半期純利益	2,152	2,250
法人税、住民税及び事業税	527	610
法人税等調整額	△84	△7
法人税等合計	442	603
四半期純利益	1,710	1,647
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,710	1,647

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	1,710	1,647
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	0
為替換算調整勘定	△1,243	253
退職給付に係る調整額	25	25
その他の包括利益合計	△1,190	279
四半期包括利益	519	1,926
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	519	1,926

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,152	2,250
減価償却費	826	665
長期前払費用償却額	1	1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	2
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	39	41
賞与引当金の増減額 (△は減少)	97	△91
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	56	64
受取利息	△11	△20
為替差損益 (△は益)	44	△2
固定資産除売却損益 (△は益)	△52	4
売上債権の増減額 (△は増加)	△902	△615
仕入債務の増減額 (△は減少)	584	236
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△89	△109
未払金の増減額 (△は減少)	77	6
その他	224	△163
小計	3,049	2,272
利息及び配当金の受取額	15	19
法人税等の支払額	△362	△1,021
法人税等の還付額	258	33
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,961	1,303
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△557
有価証券の償還による収入	1,500	—
投資有価証券の売却による収入	2	26
有形固定資産の取得による支出	△869	△791
無形固定資産の取得による支出	△55	△39
その他	61	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	638	△1,368
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△501	△690
自己株式取得のための預託金の払戻しによる収入	1,156	—
その他	△645	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	9	△691
現金及び現金同等物に係る換算差額	△656	170
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,952	△585
現金及び現金同等物の期首残高	19,820	24,832
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,773	24,246

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	9,085	2,249	4,280	638	16,254	—	16,254
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,023	386	109	—	3,519	△3,519	—
計	12,109	2,636	4,390	638	19,774	△3,519	16,254
セグメント利益	1,899	199	636	74	2,810	△709	2,100

(注) 1. セグメント利益の調整額△709百万円は、セグメント間取引消去△6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△811百万円及び棚卸資産の調整額108百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	9,170	2,927	4,568	751	17,417	—	17,417
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,585	476	130	—	4,192	△4,192	—
計	12,755	3,404	4,698	751	21,610	△4,192	17,417
セグメント利益	2,099	502	541	76	3,219	△929	2,289

(注) 1. セグメント利益の調整額△929百万円は、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△861百万円及び棚卸資産の調整額△70百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。